

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス大矢知教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	0.0%	・施設内で分散して過ごせるよう声掛けをしています。	・状況に合わせたテーブル配置や遊びの配置を行っています。
	②	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日偏りなくスタッフを配置できるようにシフト調整を実施しています。	・パートアルバイトなどのスタッフも含めて、その日の利用予定に合わせたスタッフ配置を継続していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	・利用のルールを掲示しています。 ・時間を均一にし、毎日安定して過ごせるようにしています。 ・玄関からフラットフロアに設定しています。	・障害特性に合わせた対応ができるよう、視覚提示・聴覚提示などをさらに工夫していきます。 ・靴の立ち履きが難しいご利用者様に座椅子を用意するなど、苦手をフォローできる環境設定を実施していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日清掃や環境整備を行っています。	・今後も清掃・環境整備を実施し、子どもたちが安心して過ごせる環境を作ります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	・毎月目標を設定し、問題解決に向けて取り組んでいます。	・今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりや保護者のニーズを運営に反映していくために、PDCAの実施分析を進めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0.0%	33.3%	66.7%	・今回初めて取り組みました。	・初年度のためこの評価が初めての実施になります。 ・ご意見をお伺いする機会とし、業務改善に繋がります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	33.3%	33.3%	33.3%	・今回初めて取り組みました。	・初年度のためこの評価が初めての実施になります ・自己評価結果は保護者様にも文書にて通知いたします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.0%	66.7%	33.3%	・第三者委員を設定していません	・第三者委員の設置について社内で検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	・全スタッフが毎週研修の機会を設けられるようにしています。 ・毎月社内勉強会を実施しています。	・定期的に研修の機会を持つことができるよう、社内研修・社外研修を活用して質の向上に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	・定期面談を実施し、アセスメントを実施しています。	・標準化されたアセスメントツールの活用や、保護者様から頂いた情報をもとに、適切な個別支援計画の作成に努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	0.0%	・定期的にあセスメントツールを使用し、評価を行っている。	・毎年の成長や課題が分かるよう、標準化されたツールの使用を推進していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	0.0%	・定期面談をもとにして、ガイドラインと保護者様・ご本人様の意向に沿った計画書を作成しています。	・よりわかりやすい支援が展開できるよう、支援内容のわかりやすさにこだわっていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日スタッフが目標と支援内容を確認し、支援に当たっています。	・目標を達成できるよう、毎日個別支援に取り組んでいます
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	0.0%	・活動プログラムは独断にならないよう、全スタッフの意見を入れています。	・たくさんの案が出るようなシステム作りを推進します。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	0.0%	・ご利用者様から「つまらない」といわれることのないよう、常に活動プログラムは新鮮なものを検討しています。	・プログラムが固定化しないよう、企画を立案するスキームを作ります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	66.7%	0.0%	33.3%	・個別支援が適切なご利用者様には個別支援を、集団活動の必要なお子様には集団活動を取り入れられるようにしています。	・状況や利用者に合わせた活動の提案を今後も継続していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	0.0%	・毎朝打ち合わせを実施し、その日の支援内容・役割分担を話し合います。	・連絡漏れのないような体制づくりを今後も推進していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日振り返りを行っています。 ・改善の必要な部分は次回までに改善できるように記録を残しています。	・今後も継続して振り返りを行います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日記録システムにその日の利用記録・支援記録を入力しています。	・利用者記録の漏れのないよう、適切な記録ができるよう記録時間を確保していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	㉓	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	0.0%	・毎月1回、支援の振り返りを行います。 ・モニタリングは保護者に「ふりかえり」としてお渡ししています。	・振り返りを通して、支援内容の見直しを検討したり、支援の妥当性を判断していきます。
関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	・自発管がすべての児童の支援内容について把握し、日々の支援状況を把握しています。	・今後も情報把握に努め、最も理解しているスタッフが担当者会議に参加できるようにしていきます。
	㉕	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	33.3%	33.3%	33.3%	・その子の状態に応じて、必要な機関との連携を行っています。	・関係機関とさらに連携が進められるよう、利用者様にに応じて対応を推進していきます。
	㉖	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	33.3%	0.0%	66.7%	・現在医療的ケアが必要な児童の通所はありません。 ・ご利用者様の状況に合わせた関係機関との連携は実施しています。	・医ケア児の利用は現在ありませんが、必要に応じて連携が取れるように、関係機関との関係構築に努めます。
	㉗	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0.0%	0.0%	100.0%	・現在医療的ケアが必要な児童の通所はありません。 ・ご利用者様の状況に合わせた関係機関との連携は実施しています。	・医ケア児の利用は現在ありませんが、必要に応じて連携が取れるように、関係機関との関係構築に努めます。
	㉘	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	0.0%	・幼稚園や保育園と定期的に文書や保護者を通じて支援の情報共有をしています。	・園の見学や様子確認など、今後のご利用者様に合わせた対応を検討していきます。
	㉙	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	0.0%	・どのような支援が必要かの情報共有を行っています。	・今後も情報共有を進め、ご利用者様が安心して移行できるようにしていきます。
	㉚	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33.3%	66.7%	0.0%	・児童に応じて実施しています。	・今後も児童に応じて助言等受けられるようにしていきます。 ・スタッフに助言を受ける流れが理解してもらえるよう努めます。
	㉛	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	33.3%	66.7%	0.0%	・公園等で交流する機会はありますが、計画して実施できていません。	・地域の中でのノーマライゼーションを推進したいと思っています。 ・近隣の保育施設との連携を検討していきます。
	㉜	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	33.3%	66.7%	0.0%	・部会や地域の子育て支援ネットワークに弊社は参画しています。	・子育て支援ネットワークからの情報がスタッフに行きわたるようにしていきます。
	㉝	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	・利用日には毎回保護者様とお話の時間を取っています。	・日々の様子や成長・課題点について共有する時間になっています。継続して実施していきます。
	㉞	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	・ご利用者様との関わり方のアドバイスを適宜実施しています。	・ご家庭で実施していただける支援方法や関わり方を継続的に伝えていきます。 ・状況を見ながら、専門家の講演会の実施など検討していきます。
保護者への説明責任等	㉟	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	・契約時に読み合わせを実施し、ご理解いただいているかの確認をしています。	・さらに丁寧な説明ができるよう、お伝えする方法を検討していきます
	㊱	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100.0%	0.0%	0.0%	・個別支援計画書の更新に合わせて、目標と支援内容の確認を行っています。	・丁寧な説明ができるようにしていきます。
	㊲	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	・毎回利用終了時にお話する時間を設けています。	・助言だけでなく困り事をお伺いする機会を増やして行きます。
	㊳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	100.0%	0.0%	・父母の会は設置していません。	・開設から1年が経過します。保護者様間の関係が深まってきたので、今後保護者様同士の連携が取れる企画を検討していきます。
	㊴	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	・その場ですぐ対応ができる体制を取っています。 ・すぐ回答できない場合は調べたり、改善案を立案して返答しています。	・複数対応を心がけます。 ・すぐ回答できない場合は、回答や改善策を提示させていただき、早急に対応できる体制を維持します。
	㊵	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	0.0%	・「ハッピーテラス通信」を毎月発行しています。 ・行事内容について報告をしています。	・予定や連絡事項の掲載などを推進していきます。
	㊶	個人情報の取扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	・全スタッフ、雇用契約時に個人情報保護の考え方の共有と同意書を取っています。	・個人情報を取り扱う端末の持ち出しを制限しています ・ウイルス等の侵入がないよう、PCのセキュリティを強固なものにします。
	㊷	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	・ご利用者様にあった手段を使っています。 ・保護者様とは電話・メール・口頭・手紙など意思疎通しやすい手段を取っています。	・今後も相手に合わせた情報伝達方法によって運営していきます。
	㊸	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	100.0%	0.0%	・感染症対策のため実施しませんでした。	・感染症の心配が低くなった時に、招待行事等を検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100.0%	0.0%	0.0%	・マニュアル類は玄関に掲示しています。 ・定期的に避難訓練を実施しています。	・法令に基づいた避難訓練の実施をしています。 ・防火管理者を中心として非常災害対策を実施していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	・定期的に実施しています。	全ての利用者様に避難訓練に参加していただける工夫をします。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	66.7%	33.3%	0.0%	・契約時に服薬・アレルギー・発作等の確認を実施しています。 ・定期面談の際に変化がないか、病院の所見等について定期的に確認しています。	・今後も継続して定期確認を実施していきます。 ・お子様の変化に気づけるようにしていきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	0.0%	・保護者からアレルギーの有無について確認を口頭でしています。	・指示書の確認をできるようにしていきます。 ・保護者への口頭確認の実施を推進していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	・毎日ヒヤリハット情報を収集しています。 ・軽微なものであっても毎日意見を出し合うようにしています。	・ヒヤリハットに対地的な対策を実施していきます。 ・対策を実施し、その振り返りを毎月行います。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	・年に1度実施しています。 ・新入社員には、入社時研修にて虐待防止の研修を行っています。	・今後も年1回の虐待防止研修を続けていきます。 ・県で行われる虐待防止研修に積極的に参加します。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	66.7%	33.3%	0.0%	・身体拘束を実施した事例はありません。 ・身体拘束については契約時に丁寧に説明をしています。	・今後も身体拘束は行いません。 ・身体拘束について理解を深めるため職員研修を行います。 ・身体拘束を行う必要のある事例が発生する予測がある場合は、ご利用者様と保護者と十分な話し合いを行います。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。